

巻頭言

光の時代.....川田善正

2017年日本の光学研究

新倉弘倫他 / 鈴木良政他 / 高橋幸生他 / 丹羽一樹他 / 北濱康孝他 / 河野俊介他 / 戸倉川正樹他 / 竹中秀樹他 / 河野信吾他 / 上野貢生他 / 石井智他 / T. H. H. Le 他 / 南川丈夫他 / 田原樹他 / 安野嘉晃他 / 成田岳他 / 成瀬誠他 / 山本裕紹他 / 西村隆宏他 / 吹上大樹他 / 竹中充他 / 開達郎他 / 相馬大樹他 / 長谷川健美他 / 片野祐太郎他 / 内川恵二他 / 大野博司 / 合田圭介他 / 倉持光他 / 西舘泉他 / 居波涉他 / 横井直倫他

技術報告

大気揺らぎの高さ分布計測のための太陽 SLODAR 技術 .....大石 明他

気になる論文コーナー

今後の特集予定

47巻 7号「光による単一冷却原子・イオンの量子制御」

47巻 8号「水質汚染に立ち向かう光技術」

一般的なディスプレイのカラー表示は RGB の3色で構成されています。これが、人間の色覚には3種の色光で任意の色が表現できるという性質があるという知見に基づいていること、ゆえに、色光の分光組成を完全に再現しなくてもフルカラー表示が可能であることは、皆様ご存知のとおりです。これなどは、視覚の研究で得られた知見を表示技術に応用した代表例のひとつといえるでしょう。真理の探究を目的とした視覚の研究は、これまでに数多くの知見を積み重ねてきています。一方で、ディスプレイなどの表示技術の研究開発も日進月歩で進んでいます。この2つが車の両輪のごとく連携することが、より効率よく、人に優しい情報表示技術を生み出すことにつながると思われま

す。本号の特集では、視覚研究の知見を情報表示技術に応用する技術の実現、および、その可能性についての最新の取り組みを紹介しました。視覚研究のコミュニティと表示技術の研究開発のコミュニティは必ずしもオーバーラップしていませんが、本特集がこの2つの分野をまたぐような取り組みへの理解の一助となり、また、両分野の相互連携のきっかけになるようなことがあれば幸いです。

最後になりましたが、ご多用中にもかかわらず、貴重な時間を割いて解説をご執筆くださり、すばらしい原稿を寄稿して下さった著者の皆様、この場を借りて厚く御礼申し上げます。 (水科, 小里)

特集関連の原著論文を募集しています

「光学」では上記テーマの特集を企画しています。これに合わせて、特集テーマに関連のある原著論文を募集いたします。投稿締切は、当該特集号の発行月の4か月前の10日とします。

特集関連の論文については査読作業をより迅速化し、採択となった論文はその特集号の発刊に合わせて掲載するようにいたします。特集号を明記のうえご投稿ください。詳しくは「光学」編集局 kogaku@academic-j.co.jp にお問い合わせください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2018 ©

第47巻 第5号 <月刊>

2018年5月10日 発行

定価 1,500円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒173-0004 東京都板橋区板橋 2-65-6

板橋区情報処理センター 5階

E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

齋木 敏治*	石井 勝弘**	芦原 聡†	雨宮 智宏
有本 英伸	石飛 秀和	伊藤 民武	今井 浩
今井 弘光	浦野 雄太	大平 和哉	小野 篤史
片山 雅博	木村 直樹	紀和 利彦	笹川 清隆
佐々木俊英	塩田 達俊	菅原 美博	鈴木 基嗣
関根 義之	崔 森悦	中野 和也	仁田 功一†
長谷川智士	福武 直樹	松井 崇行	松田 信幸
三浦 雅人	水科 晴樹	三村 秀和	宮崎 大介
宮地 悟代	渡邊恵理子		

\*委員長 \*\*副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 岩崎 恵美

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11 常光ビル 7F

有限会社 学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp